



原稿を書いている現在、熊本はじめ全国各地に起きた令和2年7月豪雨災害に心を痛めています。さらにコロナ禍の避難生活では、「3密」を避け安全を確保することが困難なことと推測し、心よりお見舞い申し上げます。被災者と、駆けつけたボランティアの皆様が安全が護られるよう心より祈念しております。

◇ 房総半島を直撃した台風

昨年9月9日(月)未明、観測史上最速といわれる強大な台風15号が房総半島を直撃し、当地でも未曾有の被害がもたらされました。さらに10月13日(日)に台風19号、10月25日(金)台風21号と続き、その間にも豪雨が繰り返し起き、激甚被害に拡大しました。被災格差は大きく、すぐに日常生活を取り戻した方もいる一方で、1年近く経った今なお、自宅の修理や再建の目途が立っていない方もいます。

当地の被害は多くが屋根瓦の損壊だったので、河川氾濫を伴う水害に比すれば、被害の規模が小さく感じられます。しかし数ヶ月にわたり繰り返された雨漏りは、屋内が乾く間もなく、天井裏や壁内などの目に見えないカビ被害が懸念され、それは深刻だといわれました。世界的な異常気象に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的パンデミックの陰で風化させないためにも、ここに記録を残したいと思います。

15号前夜からの暴風雨は、日付が変わって午前2時に停電となりました。朝になると、あちこちで屋根瓦や門扉が吹き飛んだり、バス停やフェンスも倒れて曲がったりしていました。木造2階建て1階部分の当NPO事務所も、屋根瓦が割れて落下し、時間経過とともに雨漏りがひどくなっていきました。什器備品・資料・書籍などを守るために、室内にもブルーシートを張り、雨水をバケツに流し込みました。その後も続いた激しい風雨のたびに、屋根に張ったブルーシートは剥がれて雨漏りが広がり、カビが発生しました。10月下旬には引越さざるを得なくなり、半年後には解体され更地になりました。



台風直後の停電は、地区によっては1週間から1ヶ月近く続き、まだら停電が続いた集落もありました。車のシガレットライターで充電しながらスマホで確認する限り、千葉県南部の被害はほとんど報道されていませんでした。冷房も冷蔵庫も使えない猛暑のなか、壊れた家の住民は片付けも捗らず疲弊し、支援の手も入らず途方にくれていたのです。

東日本大震災のときTwitterの拡散で救われた友人の経験から教訓を得ていた私は、台風明けの初日から精力的にTwitterを発信し続けました。ようやく深刻さが報道されたのは、被災から4日後のことでした。

◇ 布良崎神社の復興まちづくり

最も被害の大きかった最南端の布良(めら)という漁村集落では、約8割の住宅が被災し、その状況は市街地の比ではありませんでした。さらに停電だけでなく、固定電話も携帯も1週間以上つながらず、情報過疎となって孤立しました。

私たちが運営するまちづくり活動の拠点、築130年の青木繁「海の幸」記念館(小谷家住宅・館山市指定有形文化財)は、屋根瓦が20数枚落下し、庭木が倒れました。けれども、全国美術関係者からの募金で半解体の修復工事を4年前に済ませていたため、被害は小さく済みしました。



隣接する布良崎神社では、御神木が4本倒れ、拝殿も日に日に傾いていきました。神輿蔵は倒潰し、青木繁『海の幸』のヒントになったといわれる神輿も大きく損傷しました。2ヶ月後、漁村の人びとは、心の支えである神社の再建・神輿の修復を旨として立ち上がり

ました。倒れた御神木から木札を作り、貝殻を磨いた布良星の貝守りを作り、4,000万円の復興基金を募り始めました。春からは新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言で参拝客が来訪せず、挫けそうになりながらも諦めずに、励まし合い頑張っています。

布良のランドマークであり、NPOが連携を図っていた安房自然村のロッジ風ホテルは、吹き抜けの窓ガラスが竜巻風に割られ、巨大な三角屋根が飛ばされました。6万坪の山林は、私たちが4年前から手作りで遊歩道を整備していたのですが、倒木だらけとなり、常緑樹の森は禿げ山になってしまいました。

◇ 文化財レスキュー

NPOフォーラムが第2事務所にしてきた布良の古民家「名主の館」も屋根が吹き飛び、室内は無残に荒れました。ここでは、明治期に渡米した房総アワビ漁師に関わる歴史資料の仕分け整理と調査研究を進めていた最中でした。被災の翌々日には水没した古文書を1枚ずつ拾い集め、レスキューに取り組みました。専門家の助言を仰ぎ、状況の酷い資料は冷凍保管して、半年後に解凍し、調査活動を再開しています。



また、千葉県指定有形文化財の旧県立安房南高校の木造校舎は、屋根瓦に大きな穴があき、数ヶ所は窓枠ごと落下していました。10年前に統廃合となった空き校舎で、10月には当NPOが運営受託して一般公開の見学会が予定されていたのです。被災5日目から文化財専門家が仮修復に入り、私たちもボランティアを募って、割れた窓ガラスの補修や片付け・雨漏り対策などをしました。けれどその翌日にはまた豪雨が重なり、どんどん広範囲に雨漏りが広がりました。床が磨き上げられていた廊下も教室も、プールのような状態でした。見学会は中止となり、ようやく修復工事が完了したのは3月末でした。



◇ 安房フォーラム支援隊

未曾有の災禍となりましたが、半島先端部では工務店や屋根業者などが足りず、修理の順番待ちは1年以上とも言われていました。社会福祉協議会にボランティアセンターが設置されましたが、続く台風19号21号で甲信越から東北までの広域災害となったため、さらに需要と供給が間に合わず、ボランティアも数百件待ちとなりました。

そんななか、私たちはキリスト教系のボランティア団体 OBJ(オペレーション・ブレスリング・ジャパン)の方たちと出会いました。社協とは別の動きで、リーダーが館山に長期滞在し、全国からネットワークのボランティアを受け入れるシステムだといいます。私たちは、本来業務であるスタディツアーガイド事業が出来なくなっていたため、私設ボランティアセンターの窓口を引き受けることにしました。

「安房フォーラム支援隊」と命名し、連携団体のメンバーで緊急性の高い被災者を優先的にサポートする活動を始めました。OBJをはじめ、CWS ジャパン、CRASH ジャパン、キリスト教会・広島災害対策室・呉ボランティアセンター、救世軍愛光園、サマリタンズベース、日本キリスト教会内房分区など国内外の支援団体が基金を募り、牧師や信徒の皆さんも各地から奉仕作業に駆けつけて下さいました。広島の若い大工チームによる「屋根プロジェクト」も生まれ、ボランティア講習会も開きました。どれほど救われ、勇気づけられたか計り知れません。NPO 事務所の引っ越しも手伝っていただき、本当に助かりました。

また、医師・看護師や精神保健福祉士など医療・福祉系の災害支援団体とも連携を図って、戸別訪問や健康相談サロンなども開催しました。



平時から生活困窮している方々は、災害によってさらに状況が悪化しがちですが、見落とされやすいということも知りました。私たち自身が被災者であり、微力ながらも支援者の立場も経験するなかで、様々な課題に直面し、多くを学びました。

◇ 新型コロナウイルスを乗り越えて

まもなく台風災害から1年が経ちます。新たな復興の一步を踏み出し始めていたところへ、新型コロナウイルス感染症の影響で地域社会全体が困惑しています。NPOでも、主たる収益事業であるツアーガイドは皆無となってしまう、会員や支援者から寄せられた温かい寄付や会費を頼りに運営を賄っています。

さらに異常気象の続く昨今、再び台風シーズンを迎えるにあたり、「3密」を踏まえた避難所対策も求められるなど、複合的な課題が山積しています。

しばらくは祭礼やイベントの中止も余儀なくされていますが、自粛期間中は来られなかったボランティアや来訪者も少しずつ戻りつつあります。市民有志によるすてきな復興ソングもできあがりしました。多くの出会いとエールに励まされて笑顔を取り戻し、災い転じて福となるよう、前を向いて歩いています。



【関連サイト】 ※ リンクは表題の URL から開けます。

- ◎ NPO 法人安房文化遺産フォーラム HP
<http://bunka-isana.awa.jp/>
- ◎ 安房高等女学校木造校舎を愛する会 HP
<http://eco-m.awa.jp/aisurukai/>
- ◎ 房総アワビ移民研究所 HP
<http://eco-m.awa.jp/awabi/>
- ◎ 青木繁「海の幸」誕生の家と記念碑を保存する会 HP
<http://aoki-shigeru.awa.jp/>
- ◎ 布良崎神社神輿修復委員会 Facebook
<https://www.facebook.com/meramikoshi/>

【報道動画】

- ◎ YouTube 堀潤 (2019.9.13)
<お年寄り達は「もう限界」館山市布良地区の惨状>
<https://youtu.be/4rEIJxRZMDA>
- ◎ CGN FOCUS 1319 編 (2019.12.12)
<館山市の継続支援 屋根修理プロジェクトが進行中>
https://youtu.be/kkIYcf_o-lQ
- ◎ TBS ドキュメンタリー「ザ・フォーカス」
<それでも、ここにいたい～3度の台風に遭って～>
<https://youtu.be/yXHAcTDwZ04>

【南房総・館山復興支援ソング】

- ◎ 『虹を見たかい ～ Have you seen the rainbow?』
<https://youtu.be/8uftjny4i6E>
- ◎ 『Under the sun ～ 青い屋根の下で』
<https://youtu.be/RJrcSWdJdk>